

先輩レポート

吾辺社長に出会ってから、新しい人生がはじまりました。



PROFILE

田辺 明弘 39歳

デッドドットステーション 下中野教室

工業高校を卒業後すぐに大きな事故にあってしまい、長い病院生活へ。リハビリを行い専門学校に通いながら車イスバスケットに出会う。同時に電機会社の就職も決まり職務を全うし、37歳で独立の夢を叶える。

独立のキーワード

最後のチャンス
社長の熱い思いに共感
自分の存在価値

Q1 | 独立・起業のきっかけは？

人生に落胆していた時、
車イスバスケットに出会いました。

手に職を付けたいと工業高校に通い独立を目指していました。しかし、卒業後すぐに交通事故にあってしまい目の前が真っ暗に。一命は取り留めたものの車イスでの生活となり長い病院生活が続きました。「この先どうなるんだろう」と当時は本当に人生に落胆していましたね。それから5.6年が経過し車イスにも慣れ職業訓練校に通っていた時、「新しい事を始めないか」と知人が電機会社への就職と車イスのバスケットボールチームを紹介してくれたんです。これが人生の再出発となりバスケットボールに打ち込むようになりました。全国大会にも出場し全ての事を前向きに取り組んでいくことができ、仕事でも管理職を任されるようになりました。



先輩レポートイメージ

Q2 | 独立・起業のプロセスは？



人生は一度きり。
車イスでも独立できることを証明したい

2008年頃から不況の波が動いていた会社にもやってきました。「これいいチャンスだ。これを機に思い切って独立しよう」管理職になり責任ある仕事を任されていたが、高校生からの夢であった独立を決意し16年勤めた電気会社を退職しました。アントレを見ているとデッドドットステーションが載っており、社長の理念が自分の経験や考えとリンクしすぐに電話を掛けました。恐る恐る「車イスなんです」と聞くと「全く問題ありません」と言われたのに驚き、2日後には東京の説明会に車を走らせていました。東京ではみなさんに暖かく迎えていただき、吾辺社長から人生の勇気をもらいました。そして翌日、妻に「独立しよう」と伝えたのです。

今だから 笑える話

「独立しよう」と伝えた後、
妻がバツサリ髪を切っていました。笑

自分はやると決めたなら突き進むタイプなので、独立するという言葉を聞いて妻は覚悟の為に髪を切ったようです。後から聞いた話なんですけどね。

Q3 | 仕事の魅力・やりがいは？

「やった！できた！」の気づきが
なによりの喜びです。

自分が5社もインコン教室を回った経験があるので、この教室では本当に生徒目線に立った教え方をするようにしています。車イスバスケットの経験から「楽しくないと覚えることができない」そう思っているので、自分たちが分かっていることでもたとえ話を入れながら分かりやすく説明することを心がけています。「無料体験に参加しダンスからもう一度インコンを引っ張りだした人」「歌舞伎のチケットをインターネットで買うのが夢だという77歳の方」そんな人たちが通ってきてくれるのがうれしいです。大儲けをする事は考えていないので、まずは本当に生徒さんの為のアットホームな教室を築くことに専念しています。



私のON OFF

第一線からは退きましたが、
車イスバスケットで汗を流しています。

忙しい毎日ですが時間があれば車イスバスケットをやっています。チームの仲間もこの事業を応援してくれ、たまに教室に顔を出してくれるんですよ。



開業準備費用・経営情報

下中野教室

【開業資金】

FC加盟金関連費用:105万円

他、物件取得関連、内外装・什器・備品・その他等

【所在地】

岡山県岡山市北区下中野348番地-101-2号